670A13814A

バック付きＦＥＴスピードコントローラー

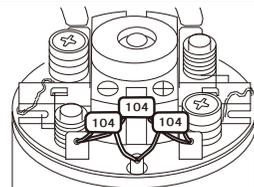
取扱説明書

このたびは、ＳＡＮＷＡ　BL-Sportをお買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品を安全にご使用いただくために、取扱いに関する手順、注意事項について説明しています。
本製品の性能を充分発揮させるために、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しくお取扱いいただくようお願い申し上げます。なお本書はお読みになった後も、いつでも読めるように大切に保管してください。

⚠ 注　意　安全に使用していただくための注意事項

■本製品はＳＡＮＷＡプロポ専用です。他社製品でのご使用は、メーカーによって仕様が異なるため本製品の故障の原因となりますので使用しないでください。
■本製品のコネクターにバッテリーやモーターを接続する際は、接触不良にならないよう確実に接続してください。
■本製品は電子部品を搭載しており、大変水に弱いため、雨天時や水たまりのある場所では、絶対に走行しないでください。
■モーターの劣化はスピードコントローラーへの負担が大きくなり、ＦＥＴの劣化または破損の原因となりますので、モーターのコンディションには十分注意していただき、定期的にモーターのメンテナンスを行ってください。
■本製品には１７ターン以上のターン数のモーターをご使用ください。
※上記ターン数より少ないターン数のモーターを使用した場合、ヒートプロテクターや過電流保護回路が働く可能性が高くなります。
※上記ターン数はあくまでも目安です。ＲＣカーの整備状況やギヤ比等の条件によっては本製品に対応するモーターであっても、ヒートプロテクターや過電流保護機能が働く場合があります。
■連続走行やコネクターの劣化によりバッテリーコネクターやモーターのギボシ端子が熱で抜けなくなったり、溶ける場合があります。そのような症状がある場合はコネクターを新しい物と交換し、使用していたモーターよりターン数の多いモーターに交換し、車体の駆動系がスムーズに回転するように整備してください。それでも症状が再発するようであれば、お近くのサービスにお問い合わせください。
■走行後は必ず走行用バッテリーのコネクターをはずして保管してください。

重要　モーターノイズ対策

モーターからのノイズで、受信機が誤動作する恐れがあります。
付属のノイズキラーコンデンサをイラストのように3個ハンダ付けしてください。
また、付属のもの以外（例えば電解コンデンサ、タンタルコンデンサ、ショットキーダイオード等）は破裂する恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

の特長

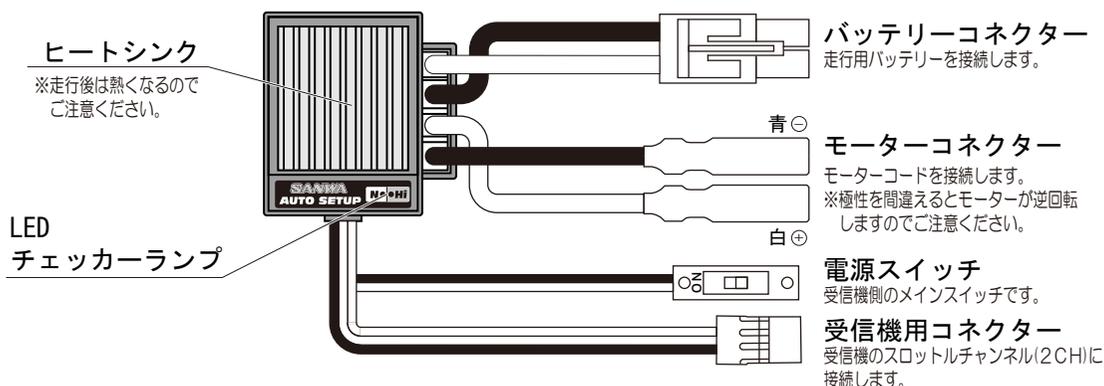
■高周波ドライブ方式採用。　■高性能パワーMOS-FETを採用　■ニュートラル/前進/後進の設定が必要ないオートセットアップ
■ニュートラルポイントやハイポイントの位置を確認できるLEDチェッカーランプ内蔵
■ヒートプロテクター機能、過電流保護機能の採用により、異常発熱や過負荷からFETを保護します。

テクニカルデータ

■使用電源・・・・・・・・・・・・・・・Ni-CD/Ni-MH　7.2V
■最大電流・・・・・・・・・・２００A（前進）１００A（後進）
■オン抵抗　・・・・・・・０.００６Ω（前進）０.０１２Ω（後進）
■寸法・・・・・・・・・・・・・３６.５x３４.０x２１.０mm
■重量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８ｇ
■対応モーター・・・・・・・・・・・・・・・・１７ターン以上

付　属　品

■ノイズキラーコンデンサー・・・・・・・・・・・・・・・３ケ
■取扱説明書（本書）・・・・・・・・・・・・・・・・・１部

各部の名称と接続方法

使用方法

FETスピードコントローラーの動作確認をする前に送信機のスロットルトリムをセンターに合わせてください。

■モーターコネクターが接続されていないことを確認してください。

●電源スイッチをONにします。必ず送信機→スピードコントローラーの順序でおこなってください。
（OFFにする場合はスピードコントローラー→送信機）

●BL-sportは電源投入時に送信機のニュートラル位置を検出していますので、緑のLEDが点灯するまで送信機を操作しないでください。
緑のLEDが点灯したら、右図のようにLEDチェッカーランプが動作するか確認してください。

●調整が終わったらモーターコネクターを接続して走行の準備を行ってください。

※前進側いっぱいに操作した状態で緑と赤のLEDが点灯する場合には、送信機スロットル側のリバーススイッチをリバース（REV）に設定してください。

■ブレーキと後進（バック）の操作方法

●前進走行中にスロットルトリガーを後進側に操作すると、操作に比例してブレーキが効きます。
ブレーキ側に操作したまま一定時間が経過すると後進になります。

※送信機にエンドポイントアジャスト機能が有る場合はブレーキの効きをEPA-Lで調整することができます。設定値を小さくすると、ブレーキが弱くなり後進もできなくなります。

■ヒートプロテクター機能

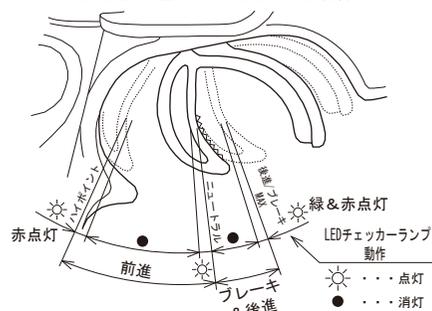
●過負荷などによりスピードコントローラーのFETが異常発熱すると、モーターの出力を停止します。

※ヒートプロテクター機能が働いているときはLEDチェッカーランプの緑と赤が点滅を続けます。

■過電流保護機能

●モーターロックなどの出力ショートなどにより過電流が流れた場合に、自動的にFETをOFFにしてFETを保護します。

※過電流保護機能が働いているときはLEDチェッカーランプは点灯しません。

LEDチェッカーランプの動作

●LEDチェッカーランプ

■スロットルの操作をLEDチェッカーランプで確認できます。
スロットルトリガーをニュートラルより前進側に操作するとLEDランプが消灯し、ハイポイントの位置でLEDチェッカーランプが点灯します。

■後進側も前進側と同じようにLEDチェッカーランプが動作します。

⚠ 注 意

スピードコントローラーの動作確認が終わったら、モーターコネクターのプラス、マイナスを正しく接続し、安全のためにメンテナンススタンド等にRCカーを乗せてスロットルトリガーをゆっくり操作して、正しく動作しているか確認してください。

故障かな？と思ったら

症　状	
動かない。 （走行前でヒートシンクが熱くない場合）	●送信機の乾電池が正しく入っているか確認してください。 ●送信機の電池残量が十分にあるか確認してください。 ●送信機、受信機側の電源スイッチがＯＮになっているか確認してください。 ●送信機と受信機のBIND（バインド）が正しくおこなわれているか確認してください。 ●送信機、受信機に正しくクリスタルが入っているか確認してください。 またクリスタルのバンドは送信機、受信機が同じバンドになっているか確認してください。 ●コネクターがはずれていないか接続を確認してください。 ●走行用バッテリーが充電されているか確認してください。 ●モーターに異常がないか確認してください。
ニュートラルでモーターの回転が止まらない。	●チェッカーランプでニュートラル位置を確認してください。 ●送信機トリムが電源投入時よりズレていないか確認してください。
スピードが遅い。	●走行用バッテリーが満充電になっているか点検してください。 ●劣化した走行用バッテリーを使用していませんか？→新しい走行用バッテリーに交換して確認してください。 ●劣化したモーターを使用していませんか？→新しいモーターに交換して確認してください。 ●LEDチェッカーランプがハイポイントで点灯していない。→ハイポイントで緑のLEDが点灯するように送信機の調整を行ってください。
前・後進が操作と反対に動く。	●送信機のスロットル側のリバーススイッチがノーマル側にセットされているか確認してください。 ●モーターコネクターのプラス、マイナスを反対に接続していないか確認してください。
走行中（または走行後）動かなくなった。 （ＦＥＴ部分が異常に発熱している場合）	●モーター、バッテリー、コネクターなどを確認してください。 ●上記に異常がない場合は、ヒートプロテクターが働いています。 1、モーター不良による発熱→モーターをチェックしてください。 2、車体の駆動系（ギヤ、ベアリング等）が軽く回転するか確認してください。 3、スピードコントローラーのＦＥＴ部分が冷却されているか確認してください。 4、モーターの性能がスピードコントローラーの容量を越えている。→ターン数の大きいモーターに交換する。

サンワサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを！
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
オーバーホールや修理に出される場合は、故障状況を詳しくご記入の上、お近くのサービスへ修理依頼してください。

また、ご質問・お問い合わせ等はお近くのサービスにて受付けております。
電話でのお問い合わせは土曜、日曜、祝祭日を除く
ＡＭ９：３０～１２：００、ＰＭ１：００～５：００です。

SANWA 三和電子機器株式会社

本　　社／東大阪市吉田本町１丁目2-50　〒578-0982　TEL072（964）2531
東京営業所／東京都台東区浅草橋3-18-1（KKKビル）　〒111-0053　TEL03（3862）8857

<本社サービス>東大阪市吉田本町1-2-50
〒578-0982　TEL072（962）2180
<東京サービス>東京都台東区浅草橋3-18-1（KKKビル）
〒111-0053　TEL03（3862）8858

●予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
●２０１０年２月　第2版